

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立天王寺区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課(電話:06-6208-8054)
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合
数値目標	84.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(H30年度～令和2年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市天王寺区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	84.6%
年度実績	95.6%
達成率	113.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	13,907	17,799	-3,892

令和4年9月26日から11月25日まで給排水工事・電気工事の実施に伴い、館内施設の利用を休止。従い当該時期は、天王寺七坂歩こう会(2回)・グラウンドゴルフ大会・区内の地域におけるいきいき広場での体操等、館外活動での人数を記載。

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
業務代行料	実績	17,569,000	17,581,000	0	—
	計画	17,569,000	17,581,000		
その他	実績	0	0	-78,000	—
	計画	78,000	20,000		
合計	実績	17,569,000	17,581,000	-78,000	—
	計画	17,647,000	17,601,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績－計画)	主な要因
人件費	実績	12,552,292	13,454,997	-1,547,708	嘱託職員への変更及び職員数減による減。
	計画	14,100,000	14,100,000		
物件費	実績	3,682,952	3,070,199	135,952	—
	計画	3,547,000	3,501,000		
合計	実績	16,235,244	16,525,196	-1,411,756	—
	計画	17,647,000	17,601,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1)成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	113.0%	A	工事による影響がある中で、本市が定める水準を達成している。

(2)市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・節電及び指定管理者で修繕可能な場合は自主修繕。	B	光熱費の高騰があったが、節電を行うなど、市費の縮減に努めた。

(3)管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設の連携して消防訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、来館時の検温及び手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	・工事実施により約2ヶ月の利用休止期間があったが、館外活動としてグラウンドゴルフ大会を実施するなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・天王寺区社会福祉施設連絡会の運営委員として学習会や防災活動等に参画するなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報の収集・保管は必要最小限にするとともに、パソコンのID及びパスワードを定期的に変更するなど、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、節電を行うなど実効性のある取組を行っている。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

(1)調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
(2)回答者227人(未記入者含む)
(3)質問項目 ア 基本的な事項(年齢、居住区等) イ 満足度 ウ 感染症による影響、所持している電子機器等
(4)結果 ・総合満足度において、満足(やや満足)と回答される方が95.6%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1 同じような役割を持つ法人などと合同でさまざまな取組を行っている点は評価できる。
2 60代の方が講習会等に来られた際には、利用者のICT普及促進のためにスマホボランティアへの声掛けを行うなどの検討していただきたい。
3 センターだよりについて、例えば登録者の少ない月にはセンターの地図を省くなどの工夫を行い、新たに写真を用いた行事報告の掲載を検討していただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		A	給排水工事により、約2か月のセンター利用休止期間があったが、講座内容の工夫やサークル活動日の調整等、利用者のニーズに沿った円滑な事業を展開し、事前に設定した目標を超える成果があった。
市費の縮減		B	事業計画に基づき、効率的に管理運営を実施。
管理運営の履行状況		B	新型コロナウイルス感染症や給排水工事によりセンター利用を自粛、制限される期間があったが、実施方法を工夫し高齢者の生きがい、社会参加、介護予防、健康増進等を推進する事業を実施できた。また老人クラブ連合会、サークル活動、「セカンドライフを考える会」など、高齢者自身が主体となって行う活動を支援すると共に、昨年に引き続きスマホ講座を実施し、高齢者のICT利用促進につなげた。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	本市が期待する管理運営を行った。